

## 編集後記

編集委員となり1年半が経ちました。初めて企画提案した小特集記事が今年の9月号に掲載され、嬉しく思っています。記事の企画を作り上げていくことが編集委員のメインの仕事の1つとなりますが、掲載の約1年前から企画作業をスタートし、様々な分野で活躍されている編集委員や著者の皆様にコメント・ご意見をいただきながら構成をまとめ上げていくプロセスには、大変やりがいを感じています。

プラズマ・核融合学会は事務局が名古屋にあり、大学の学部卒業までを名古屋で過ごした私にとっては何となく親近感があります。当時、名古屋大学理学部で学部3年生対象のプラズマ物理学の授業を受けたことが、プラズマ研究の道に進むきっかけとなりました。他にも色々な授業を受けましたが、先生方はどなたも研究分野や物理学そのものの魅力を伝えたいという思いにあふれ、とてもチャームグでした。私もそんな研究者になりたいと思っています。

私の研究者としてのもう1つの目標は、イルカと友達になることです。私は昔からイルカが好きで、子どもの頃の

夢はイルカの調教士になることでした。ある日、水族館に遊びに行ったとき、水族館職員の方にその夢を伝えてみると、「調教士も良いけれど、大学に行くつもりなら獣医などイルカという生物と深く付き合う職業をめざしてみてもいい」と言われ、その考え方に大変影響を受けました。その後物理の方面に進みましたが、今は“波”を真に理解することでイルカと友達になることが夢です。真摯に助言をくれた水族館の職員さんに感謝しています。名古屋港水族館は、巨大水槽でイルカやシャチがダイナミックに泳ぎ回る、イルカ好きにはたまらない水族館です。名古屋にお越しの際はぜひ訪れてみてください。

最後に、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で学会や研究会の現地開催が軒並み中止となり、オンライン会議が続いています。この状況に置かれて改めて、人と直接会って話をする事の不思議なかけがえのなさを実感しています。皆様とまた学会等でお会いできる日を心待ちにしております。(岩田夏弥)

### プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博  
副会長：安藤 晃 (推薦委員長：研究助成, 男女共同参画委員長) 竹入康彦 (推薦委員長：学会賞, 研究部会連絡会委員長)  
常務理事：下妻 隆 (総務委員長)  
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖  
金子俊郎 木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 齊藤輝雄  
篠原孝司 (広報委員長) 神野雅文 中井光男 (年会運営委員長, 企画委員長)  
渡邊隆行 (企業展示検討委員長, 支部・地区研究連絡委員長) 横峯健彦 和田 元  
監 事：中村圭二, 前田達志

### プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)  
エディタ：古閑一憲(九大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 城崎知至(広島大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)  
編集委員：池添竜也(九大), 今寺賢志(京大), 岩田夏弥(阪大), 上野一磨(中京大), 大谷芳明(量研), 小川大輔(中部大), 呉 準席(大阪市大), 小柳津 誠(量研), 加藤雄人(東北大), 河村学思(核融合研), 小林 真(核融合研), 小林政弘(核融合研), 近藤康太郎(量研), 齋藤誠紀(山形大), 齋藤晴彦(東大), 柴田崇統(高エネ研), 清水鉄司(産総研), 竹田圭吾(名城大), 田中宏彦(名大), 中村浩隆(阪大), 水口直紀(核融合研), 向井啓祐(京大), 本村大成(産総研), 森田太智(九大), 森高外征雄(核融合研), 山田大将(長野高専), 安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第96巻第11号

編集・発行  
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷  
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2020年(令和2年)11月25日  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485  
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。